

戦評

大会名 第61回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日時 平成20年6月7日～9日

会場 八戸市東体育館

女子決勝（6月9日）

弘前学院聖愛高等学校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25 - 15 \\ 25 - 17 \end{array} \right\}$ 0 木造高等学校

ファーストレフリー 秋田将宏

セカンドレフリー 晴山雅紀

4年連続10回目の優勝を目指す弘前学院聖愛高等学校（以下聖愛）と14年ぶり2回目の優勝を目指す木造高等学校（以下木造）の対戦。第1セット序盤は聖愛の奥崎、北山（沙季）のスパイクが決まり、聖愛がリードする。木造も齋藤のスパイクとブロックが決まるが、リードをなかなか縮めることができない。中盤では聖愛樋口のスパイクとブロックが随所で決まり、聖愛がリードを広げる。後半には、木造キャプテン長内のスパイクが連続で決まり反撃するが、聖愛のセッター北山（亜季）がライトと時間差を効果的に使い、25 - 15で聖愛が取る。第2セット序盤は木造の長内、齋藤のスパイクが連続で決まり木造がリードを奪う。木造齋藤のブロックがいいリズムを作っていく。しかし、聖愛の高いブロックと粘り強いレシーブからのコンビバレーが次々と決まり、11 - 9と聖愛が逆転する。中盤以降は木造の長内がスパイク、サーブと得点を重ねていくが、それ以上に聖愛のブロックからの速攻が決まり、聖愛がリードを広げていく。終盤にも聖愛青柳の速攻が確実に決まる。最後はレフト奥崎のスパイクが決まり、25 - 17で聖愛が4年連続10回目の優勝を決めた。

戦評者 村元直記